

—美郷がいちばん、すきです美郷

ふたし 議会だより

第 **29** 号
2011.10.15



先生、大きいよ～

なかよし園 いも掘りより

P2 財政改善が進む

決算概要	4
新委員会構成	8
一般質問	10
住民と議会との懇談会	12
追跡レポート	14
キラリ美郷人	16

実質公債費比率 14.2%

財政改善が進む



完成間近の美郷中学校

9月定例会を、9月5日から9日までの5日間の会期で開きました▼審議した議案は、平成22年度美郷町一般会計決算認定など29議案▼そのすべてを、原案のとおり認定・可決しました▼また、一般質問は2議員が登壇して町政をただし、陳情4件を採択、1件を趣旨採択としました。

平 成22年度一般・特別会計決算認定を中心審査した今定例会冒頭、監査委員の意見を付した健全化判断比率の4指標と3特別会計の資金不足比率が報告されました。

そ の中で、町の借金の比率を示す実質公債費比率は14.2%（前年16.3%）となり、前年度より2.1ポイント改善されました。これは、財政健全化法制定後初めて報告された、平成19年度決算での実質公債費比率19.4%から3年連続での改善です。

限り町の借金の町債を繰上償還してきました。また、ここ数年間の地方交付税増も、実質公債費比率改善の要因でした。

し かし今後、学校再編事業の本格化や六郷保育園・幼稚園の新築事業などが控えます。また、東日本大震災の影響で地方交付税の今後の伸びは期待できず、合併前の交付税額を保障する合併算定換などの特例措置も、残すところ後3年間です。町の将来像を見据えて、限りある財源をいかに活かすかが今後のまちづくりの課題です。

用語解説

※注1：健全化判断比率／自治体財政の健全化を示す4指標（5ページ表3参照）

※注2：資金不足比率／自治体が運営する公営企業会計などの資金不足（赤字）の比率

※注3：実質公債費比率／公債費および公債費に準じた経費の比重を示す比率

※注4：財政健全化法／自治体財政の健全化のために、健全化判断比率を公表し、健全化の計画を策定する制度を定める法律

災害時の備えに

みさと地域見守り

チームを立ち上げ

私 たちは、同じ地域で様々な方々と一緒に暮らしています。その中には、高齢者の方や障がい者の方など、災害時に援助が必要な方もいらっしゃるでしょう。災害時、地域の要援護者を地域で守るためには、普段からの絆づくりが大切です。

今 定例会では、平成23年度一般会計補正予算に626万4千円を補正し、新たに『みさと地域見守りチーム』の立ち上げにかかわる経費を可決しました。これは、行政区単位を基本として、平常時から地域で暮らす災害時要援護者への見守り体制を構築するためのもので、今年度限り1チームあたり5万4千円ほどを補助します。

チーム構成は、各行政区の自主防災組織をベースに、民生児童委員や消防団員、保健師・看護師・ホームヘルパーなどの有資格者、社会福祉協議会職員や町職員などもメンバーとなります。

その他の一般会計補正予算の主な内容は、農林水産業費の夢プラン事業を拡大する193万7千9百円や統合中学校の備品購入費467万8千円など。歳入・歳出それぞれに1億107万3千円を追加し、平成23年度一般会計予算総額を117億6479万3千円としました。（補正予算などの主な質疑は7Pに掲載します）

仙南地区の敬老会より





審査する久米代表監査委員と吉野監査委員

審査意見

「まちづくり戦略プロジェクト」や公共施設の再編にかかわる事業など重点項目を設定しての事業実施、プライマリーバランスの黒字化や後年度負担の軽減に配慮した繰上償還などを評価する。

特に、東日本大震災で住民生活に混乱がなかったのは、防災行政無線などを整備した「安全・安心プロジェクト」の成果であり評価したい。(抜粋・要約)

平成22年度各会計の収支決算総括表

表2 単位：千円

会計名	歳入決算	歳出決算	認定の結果
一般会計	12,229,519	11,825,298	賛成15人・反対2人
国民健康保険特別会計	2,702,477	2,461,421	賛成15人・反対2人
老人保健特別会計	1,332	1,332	賛成15人・反対2人
簡易水道事業特別会計	380,846	374,565	全員賛成
下水道事業特別会計	172,148	168,230	全員賛成
農業集落排水特別会計	202,916	199,208	全員賛成
後期高齢者医療特別会計	169,603	169,334	賛成15人・反対2人
合計	15,858,841	15,199,388	

表3

健全化判断比率	H19	H20	H21	H22	早期健全化基準
①実質赤字比率	-	-	-	-	13.63%
②連結実質赤字比率	-	-	-	-	18.63%
③実質公債費比率	19.4%	18.3%	16.3%	14.2%	25.0%
④将来負担比率	142.8%	122.6%	95.1%	66.6%	350.0%

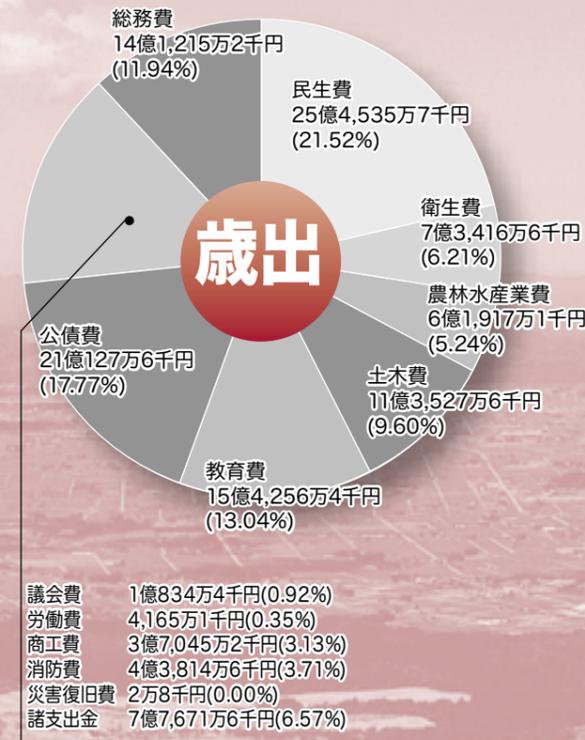
※赤字（資金不足）額がないものは該当なしのため「-」を表示しています。

平成22年度一般・特別会計 決算認定

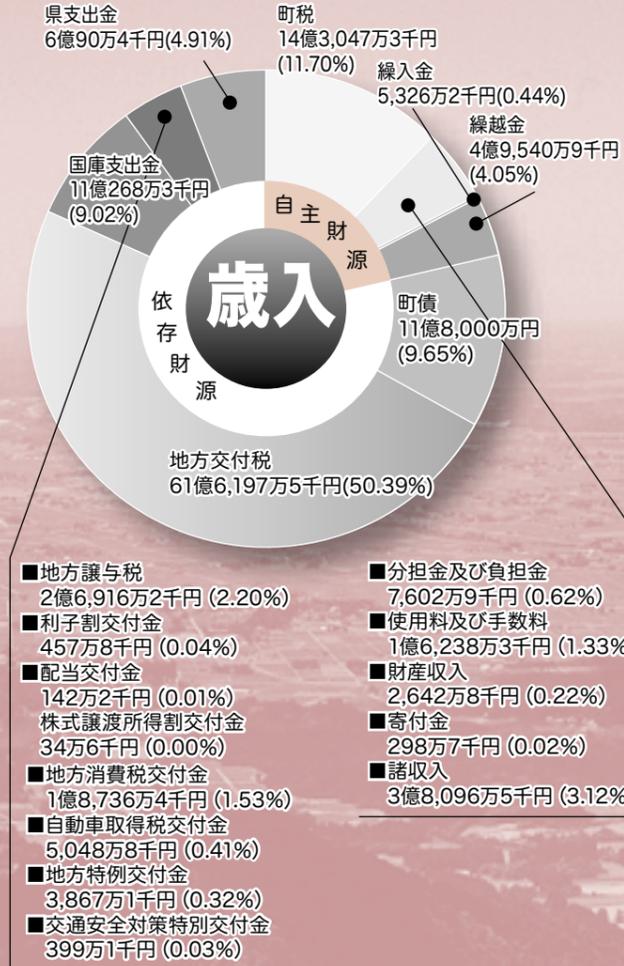
後年度を見据えた事業を評価

表1

【一般会計歳出：118億2,529万8千円】



【一般会計歳入：122億2,951万9千円】



平成22年度一般会計の決算状況は、歳入122億2,951万9千円・歳出118億2,529万8千円で、差引残高4億4,222万1千円ですが、これに翌年度に繰り越す財源68,106万6千円が含まれており、実質収支は3億3,611万5千円の黒字決算でした。(表1参照)

国民健康保険や下水道事業など6つの特別会計決算では、制度上同額決算となる老人保健特別会計を除き、全てが黒字決算となりました。(表2参照)

健全化判断比率の4指標は、実質赤字比率・連結実質赤字比率ともに黒字決算なので該当せず、実質公債

費比率・将来負担比率ともに3年連続で前年度より改善する数値となりました。(表3参照) また、簡易水道事業特別会計・下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計での資金不足比率は、いずれも黒字決算なので該当なしとなりました。

用語解説

- **実質赤字比率**
一般会計などの実質赤字の比率
- **連結実質赤字比率**
全ての会計の実質赤字の比率
- **実質公債費比率**
公債費および公債費に準じた経費の比重を示す比率
- **将来負担比率**
地方債残高のほか一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の比率

反対討論

泉(美)議員 依然と続く厳しい経済情勢の中で住民生活は日々大変になっているが、粗大ごみの有料化など新たな負担増もあり賛成できない。

賛成討論

深沢(義)議員 プロジェクトによる重点事業の実施や、後年度を見据えた公共施設・学校再編事業を評価する。また、財政の健全化を示す数値も良好であり賛成する。

平成22年度一般会計 決算認定討論

収納率向上に努力

9月8日行われた、平成22年度決算の全体質疑での主な内容を要約してお伝えします。



歳入

差押えの状況は

泉(美)議員 差押えの具体的な内容と件数をうかがう。

税務課長 平成22年度は95件で、その内訳は預貯金34件の397万9264円、国税還付金54件の96万9692円、不動産4件の配当金226万5140円だ。倒産や破産での交付要求による配当金は、3件の52万3320円で合計は773万7416円だ。

間伐材の収入は

武藤議員 仏沢地区の間伐石数と金額はいくらか。
総務課長 立木の売払い収入は、合計3951本の石



町有林の視察

数271㎡で金額は509万4109円だ。

太陽光の発電と売電量は

戸澤議員 北給食センター太陽光発電の、発電と売電量は年間どのくらいか。
教育施設課長 発電量は1万2333kwで、うち売電量は225kwだ。総使用量に占める発電量は5・6%だ。

ごみの増加はなぜ

泉(美)議員 ごみの排出量が前年度より増加した理由は、**住民生活課長** 昨年より粗大ごみの有料化を実施したが、始まる直前に粗大ごみが一挙に排出されたため増加となった。

歳出

活力ある地域づくりの内容は

澁谷議員 活力ある地域づくり事業は20件の申し込みだが、どのような事業活動か。
総務課長 花いっぱい運動、グラウンドゴルフ大会や黒沢地区のフェスティバル、地域の伝統行事などに活用している。

簡易水道の水質は

武藤議員 長面地区の簡易水道の水質はどのようになっていくか。
建設課長 長面簡水は、マンガンの数値が高いので除去装置を使用している。今後は、地域住民と相談した結果を踏えて検討していく。

斎場の使用料は

深澤(均)議員 斎場負担金と使用料負担金の内容は、**住民生活課長** 負担金については市町村圏組合の運営費だ。使用料は火葬のためのもので343件あった。

派遣補助基準は

泉(美)議員 監査意見書にある50万円を超えた児童生徒派遣費補助金は適正か。
教育次長兼教育総務課長 全国大会出場など50万円を超えたケースが3件あった。しかし、保護者の負担を考慮したものである。

平成23年度 一般会計補正予算

放射線対応は

今定例会で審議した、平成23年度一般会計補正予算の主な質疑を要約してお伝えします。

ナラ枯れ防止事業の内容は

熊谷(隆)議員 県のナラ枯れ防止に対する交付金の事業内容と町での被害状況は。
農政課長 事業内容は、資源調査作業と伐採しての有利販売に対する助成で、現在被害の調査に入った段階だ。

武藤議員 ナラ枯れが広く発生しないよう対応してほしい。
農政課長 黒沢地区の山林を対象にこの事業を行う予定で、被害発生前に老木を伐採する

など防止に努める考えだ。

みさと地域見守りチームの活動は

吉野議員 みさと地域見守りチームの平常時や災害時の活動内容と、個人情報保護に対する対応は。
福祉保健課長 平常時は、まさに見守るといふ態勢になる。また災害時は、避難所への誘

導支援などを考えている。個人情報については、民生児童委員の方に入ってもらったことに対応していく考えだ。
吉野議員 今年度立ち上げできなかった地域への対応は。
福祉保健課長 県の基金を活用しての補助事業は23年度限りだが、チームの立ち上げに対する支援にはできる限り努力する。



防災訓練

第8回議会定例会 提出議案一覧

認定第1号	平成22年度美郷町一般会計決算認定について	〈賛成15人：反対2人で原案認定〉
認定第2号	平成22年度美郷町国民健康保険特別会計決算認定について	〈賛成15人：反対2人で原案認定〉
認定第3号	平成22年度美郷町老人保健特別会計決算認定について	〈賛成15人：反対2人で原案認定〉
認定第4号	平成22年度美郷町簡易水道事業特別会計決算認定について	〈全員賛成で原案認定〉
認定第5号	平成22年度美郷町下水道事業特別会計決算認定について	〈全員賛成で原案認定〉
認定第6号	平成22年度美郷町農業集落排水事業特別会計決算認定について	〈全員賛成で原案認定〉
認定第7号	平成22年度美郷町後期高齢者医療特別会計決算認定について	〈賛成15人：反対2人で原案認定〉
議案第61号	財産の取得について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第62号	負担付寄附の受け入れについて	〈全員賛成で原案可決〉
議案第63号	負担付寄附の受け入れについて	〈全員賛成で原案可決〉
議案第64号	権利の放棄について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第65号	美郷町町長及び副町長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第66号	美郷町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第67号	美郷町税条例の一部改正について	〈賛成15人：反対2人で原案可決〉
議案第68号	美郷町学友館条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第69号	美郷町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第70号	美郷町千畑複合温泉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第71号	指定管理者の指定について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第72号	平成23年度美郷町一般会計補正予算第5号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第73号	平成23年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第2号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第74号	平成23年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第3号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第75号	平成23年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第2号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第76号	平成23年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第2号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第77号	平成23年度美郷町後期高齢者医療特別会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉
発議第5号	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第6号	「義務教育費国庫負担堅持及び国庫負担2分の1復元」を求める意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第7号	30人以下学級実現を求める意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第8号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第78号	工事請負契約の一部変更について	〈全員賛成で原案可決〉



新しい委員会構成を決めました

常任委員会、議会運営委員会の任期（2年）が10月4日で満了するため、9月9日の本会議で新しい委員会構成を決めました。任期は平成25年9月30日までです。

吉野 久 中村利昭 高橋 猛
杉澤隆一 福田 守 泉 美和子
(副委員長) (委員長)



総務常任委員会

教育民生常任委員会



澁谷俊二 熊谷隆一 深沢義一
深澤 均 熊谷良夫 伊藤福章
(副委員長) (委員長)

武藤 威 泉 繁夫 飛澤龍右工門
戸澤 勉 森元淑雄 中村美智男
(副委員長) (委員長)



産業建設常任委員会

議会運営委員会



杉澤隆一 熊谷隆一 飛澤龍右工門
澁谷俊二 泉 繁夫 泉 美和子
(副委員長) (委員長)

常任委員会の任期満了に伴い、新しい委員を選任しました。

泉 繁夫 吉野 久 深沢義一
深澤 均 泉 美和子 森元淑雄
(副委員長) (委員長)



議会広報特別委員会

軽度介護者の権利を奪うものではないか 町長「決して奪うものではない」



真昼荘

議員 改定介護保険は、利用者・家族に重大な影響を与えると考える。

①「介護予防、日常生活支援総合事業」が創設されたが内容は利用者を町の判断で介護事業から総合事業へ移すことができるとしている。これは

要支援と認定され介護者の権利を奪うものではないか。

②介護職員による痰の吸引などの医療行為が認められたが、職員にとっては負担であり、医療体制の充実こそ必要だ。

③介護保険料は年金生活者に

町長 ①要支援と非該当を行き来するような高齢者を対象として、これまで介護保険サービス外だった生活支援などを合わせて提供、内容だ。本人の意向も含めて判断するもので、介護を必要とする権利を奪うものではない。

②痰吸引の実施は、知識・技術を習得した介護職員に限った行為であり、介護現場の二

測定値を公表せよ

議員 町で行っている放射線測定値を公表すべきだ。

町長 国の基準を大きく下回っているので公開しない。

議員 小中学校の統廃合にあたり、子どもたちの安全な通学を確保する観点から、当局の考えをたずねる。

①統合美郷中学校への通学は、遠距離対策としてスクールバス通学とする計画だが、通学距離の一番遠い生徒の集落と距離数、所要時間はどれくらいか。

②仙南・千畑地区は、旧町村境を超えた通学路が必要だが、街路灯や防犯灯など未整備なところが多いようだ。通学路の安全確保と決定をどのよう

にしているのか。

③保護者からの要望がある部活動後のスクールバス運行の考えは。

④小学校児童のスクールバスについて、先の3月議会会でヘッドレストのないスクールバスの安全性について指摘したが、いまだ改善されていない。安全性についての所見は。

⑤小学校の通学区の変更は考えているか。

⑥子どもたちの登下校を見守る「見守り隊」について、車だけでなく、会員と一目でわかるものが必要ではないか。

深澤 均 議員

一般質問

安全な通学を望む

教育長「安全確保に努める」

学校までの距離を考慮し決定したい。街路灯などの整備は、計画的に進めていきたい。

③帰宅用1便を運行する予定だ。

④より安全性を確保するため改善を検討しているが、製造

工場の受け入れ体制などが整わず対応が遅れている。今後、環境が整いしだい対応したい。

⑤現在のところ考えていない。

⑥必要な方へ、IDカード方式の身分証明書を交付したい。

質問者

深澤 均 議員

泉 美和子 議員



六郷中学校の通学路

活発な意見交換

6月22・23・24日の3日間にわたり町内9会場で行った「住民と議会との懇談会」の内容を報告します。



第7回目となった今回は、75名の参加をいただき、活発な意見交換が行われました。議会では、7月7日に全体検討会を開いて、今回出された提言・意見・要望について町への要望事項などを話し合いました。

7月12日、町に意見書と要望書を提出し、7月26日に回答をいただいています。

以下、懇談会で話し合われた主な内容や町への回答を要約してお伝えします。

町への要望事項

町が実施する 草刈箇所は

住民 町で道路の路肩の草刈りをやっているが、町が実施する箇所に関し統一した見解を示してほしい。

町の回答 基本的に、河川や山林などで所有者の特定できない箇所や危険な箇所について町で実施している。

河川の浚渫を

住民 善知鳥川上流部の伐木・浚渫をしてほしい。

町の回答 早期の対応が必要と判断したので、県に再度要

望していく。 除草をしっかりと

住民 機織清水や遊歩道周辺の草が伸び放題なので、除草をしっかりとやってほしい。また、清水の下流部が高く水が濁っているため、改修できないか。

町の回答 遊歩道の除草は、状態を見ながら適時に行っていくが、日常的な美化活動は地域の協力もお願いしたい。下流部については、今後調査する。



機織清水の遊歩道

融雪溝に水が来ない

住民 古町地区で、融雪溝に水が来ないので困っている。また、除草の仕方が悪く難儀だ。

町の回答 融雪溝の水源は、ニテコ湧水をポンプ圧送により利用しており、水量は湧水の量に左右されるため安定供給が困難だ。

除雪については、より効率的な除雪に努める。

道路の拡幅を

住民 まだ実現していない赤城耳取線の拡幅を再度要請する。

町の回答 今年度、上中野町から耳取までの舗装修繕を実施する。耳取から扇田までの拡幅については、松ノ木集落内道路の改良が完了してから検討する。

行事の案内掲示板を

住民 総合体育館リリオス前に、開催行事などがわかるよう大型掲示板を設置して案内掲示してほしい。

町の回答 検討する。

通学路の安全確保を

住民 学校統合によって通学路が変わる可能性があるが、通学路に防犯灯の整備をしてほしい。

また、横断する箇所（下中野町会館前、大橋集落から県道）に注意を促す看板か旗の設置を望む。

町の回答 防犯灯は20年度から4カ年計画で整備を進めているが、学校再編の状況を見ながら計画的に対応していく。下中野町会館前については、横断歩道手前カーブより注意看板などを設置する。

大橋集落付近については、速度規制標識が9本あり、運転者には十分注意を促している状況と考える。

地域限定の放送を

住民 防災行政無線は地域を限定して放送できないか。

町の回答 原則は、緊急性・重大性・広域性の高い内容について放送するが、今後運用指針を検討する。

点検結果の 公表と対策は

住民 善知鳥坂橋は幅が狭く古くなったが、橋梁点検結果の公表と対策は。

町の回答 21年度実施の点検では、緊急的な整備を必要とする損傷はなかった。今年策定する橋梁長寿命化計画に基づき、年次計画で緊急性の高いものから整備していく。点検結果は、ホームページに掲載している。



下中野町会館前の注意看板

10月24(月)25(火)26(水)日

第8回「住民と議会との懇談会」を開催します

議会では、本会議の内容や議会活動の状況などを町民の皆さんにご報告・説明し、また、議会に対する意見や要望をお聴きする機会として「住民と議会との懇談会」を開催します。町内9会場どこでも自由に参加できますので、たくさんのご来場をお待ちしております。

日時	地区	会場	担当班
10月24日(月) 午後7時00分～ 午後8時30分	千畑地区	城回会館	1班
		下畑屋会館	2班
		大柳会館	3班
10月25日(火) 午後7時00分～ 午後8時30分	仙南地区	西部コミュニティセンター	1班
		橋本会館	2班
		中野際児童館	3班
10月26日(水) 午後7時00分～ 午後8時30分	六郷地区	赤城会館	1班
		東高方町会館	2班
		関田児童館	3班

シリーズ

なんと？ なったべな

How did it become it afterwards?

Vol.3

平成22年10月開催の

「住民と議会との懇談会」より

住民 美郷町では光回線の整備が進んでいない。早くサービスが受けられるよう努力してほしい。



どんどん広がる 「光ファイバー」 来春までに 全町で接続可能へ

「住民と議会との懇談会」で提案された要望が町へ伝えられ、その後まちづくりでどう活かされたかを追跡レポートします。

町ではこれまで様々な誘致活動を行ってきましたが、6月定例会で町自ら光ファイバーを整備する事業費2億3261万円を可決しました。
NTTの敷設整備もあわせて、来春までには町内全域で光ブロードバンドサービスが提供されます。



有意義な交流行われる

2市1町研修会

去る7月15日、大仙市・仙北市・美郷町の議会議員交流会が開かれました。

今回は、美郷町の当番で、講師に北都銀行取締役会長であり美郷大使でもある町田睿氏から「東日本大震災からの再生、復興」の演題で講話を頂きました。

町田氏は、今の政治の状況や国の対策など多方面からの見解を語り、これからの方向性、東北・秋田の自立、県民性改革「いいふりこぎ」と「ひ

やみこぎ」との訣別など、私達の心にしつかりと刻み込まれなければならないようなお話をされました。

県南3カ町村 研修会

7月26日、羽後町・東成瀬村・美郷町の県南3カ町村の議会議員連絡協議会が、西馬音内盆踊り会館で開かれました。

大江尚征町長の歓迎のあいさつを受け、秋田県教育長の米田進氏が「秋田県の教育情勢について」をテーマに講演しました。

その後、西馬音内盆踊りの披露を見せて頂き、優雅さに浸り、有意義な懇親・交流ができたと感じてきました。

請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

- ◇「地方消費者行政充実のための国による支援に関する意見書」の採択等を求める陳情書（全員賛成）
秋田弁護士会 会長 三浦 清
- ◇30人以下学級実現を求める意見書採択についての陳情書（全員賛成）
秋田県教職員組合 執行委員長 伊藤 正通
仙北支部支部長 渋谷 聡
- ◇「義務教育費国庫負担堅持及び国庫負担2分の1復元」を求める意見書採択についての陳情書（全員賛成）
秋田県教職員組合 執行委員長 伊藤 正通
仙北支部支部長 渋谷 聡
- ◇地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する陳情書（全員賛成）
連合秋田大曲地域協議会 議長 早川 隆史

趣旨採択としました

- ◇学校給食に地場産野菜活用の一層の向上を求める陳情書（全員賛成）
学校給食に地場産物の活用を求める会
秋田県革新懇筆頭代表世話人 山内 満

みさと議会だより 第28号クイズ

★クイズ回答

- 【問1】「○○○方式」で光ファイバー整備事業を実施
- 【回答】 I RU
- 【問2】復興支援で職員○○人を派遣
- 【回答】 1 2

◎クイズ当選者

- 抽選の結果、次の方が当選しました。
- 鈴木 智子 様
- 高橋 益子 様
- 佐々木ひで子 様

シリーズ キラリ美郷人 vol.24

キラリ美郷人は、学校シリーズ第8回目として千畑中学校の活動を紹介します。



体力づくりや 花壇づくりが千畑カラー

千畑中学校



東に真昼の雄志を仰ぎ、広々とした田園に囲まれた学舎の歴史に、今年度をもって終止符が打たれることになりました。

本校の歴史をひもといてみますと、昭和43年に千屋中学校と畑屋中学校が統合して千畑中学校が誕生し、今年度で44年目を迎えました。この間、千畑中学校は、地域の方々に見守られる中、保護者と教職員がしっかりと手を携え、「和而発」の校訓のもと「心豊かに、かしこく、たくましく生きぬく生徒の育成」を目指して日々教育活動に取り組んでまいりました。

とりわけ、創立当時からの校内マラソンや昭和55年から始まった体力づくりは、ここに学

? クイズ

問1 平成22年度の実績公債費比率は〇〇.〇%となりました。

問2 〇〇〇の備えに、みさと地域見守りチームを立ち上げます。

… 〇に入る言葉や数字などをお答えください …

応募方法／ はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で3名の方に粗品を差し上げます。
また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先／ 〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10 美郷町議会事務局 議会だより係

締切日／ 平成23年11月15日(当日消印有効)

●次回定例会は、12月中旬を予定しています。傍聴をお待ちしております。

んだ多くの人々に、目標を決めて粘り強く頑張るチャレンジ精神や苦しみに負けない不屈の精神を養いました。そして、毎年のように全県大会に挑戦してきた駅伝でしたが、平成7・8年には男子チームが、平成21・22年には女子チームが夢の全県制覇を成し遂げ、「走る千畑」の機運を高めその名を県下に示してくれました。

また、統合当時、杉苗畑の中にただ校舎だけが光っている殺風景な環境を充実させるべく、初代校長小松喜代見先生を先頭に生徒も保護者も教職員も石を拾い土を耕し、木や花を植え環境づくりには汗を流されたと聞き

ます。このような努力によって築き上げられた学校花壇は、内閣総理大臣賞を初め、文部大臣、厚生大臣賞など数々の賞を受賞し、長くモデル花壇として他に範を示すまでに成長しました。朝な夕なに手入れを怠らない生徒による花壇づくりは、確実に生徒の「豊かな心」をはぐくむ根源となつて生かされてまいりました。

校長 高橋 孝志

